

教員会議（2114回）・研究科委員会（561回）議事要録

日 時：令和4年2月9日（水）13時30分～17時00分

場 所：大会議室

※教員会議開始前にFD推進会議（コンプライアンス教育（教育研究費不正防止）研修）が開催された。

【確認事項】

※「教員会議（2112回）・研究科委員会（560回）」、「教員会議（2113回）」の議事要録(案)について、確認された。

◆教員会議◆

【審議事項】

1. 入 試 委：《先議》

(1) 令和4年度学校推薦型選抜Ⅱの合否判定について（資1一回収）

安田委員長から、標記について「令和4年度学校推薦型選抜Ⅱの合否判定基準」を読み上げた後、資料に基づき説明提案があり、承認された。

(2) 令和4年度一般選抜合否判定基準について（案）（資2一回収）

安田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

(3) 令和4年度私費外国人留学生選抜の合否判定基準について（案）（資3一回収）

安田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

(4) 令和4年度一般選抜定員超過・定員割れを起こさないための措置について（資4一回収）

安田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

2. 人事について

(1) 教員の昇任について（調査委員会設置の発議）（資5一回収）《投票》

《地域文化創造専攻（領域C、米文学分野）》

飯嶋教員の教授昇任について、川田教員から資料に基づき説明があり、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から川田、当該領域から高田、当該領域以外の領域から鍵和田、中村(洋)の各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、朝賀委員を選出することとなった。

《地域文化創造専攻（領域E、代数・幾何分野）》

中田(文)教員の教授昇任について、和田教員から資料に基づき説明があり、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から和田、当該領域から水澤、当該領域以外の領域から森本、中村(洋)の各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、平中委員を選出することとなった。

《地域文化創造専攻（領域G、体操分野）》

本嶋教員の准教授昇任について、杉浦教員から資料に基づき説明があり、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで

各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から杉浦、当該領域から蓮沼、当該領域以外の領域から高田、保木井の各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、小川委員を選出することとなった。

《教職実践専攻（領域A、教育学・比較教育学分野）》

植田教員の准教授昇任について、阿内教員から資料に基づき説明があり、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から阿内、当該領域から坂本、当該領域以外の領域から牧田、保木井の各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、松下委員を選出することとなった。

(2) 准教授の任用について（調査委員会設置の発議）（資6）《投票》

《教職実践専攻（領域A、理科教育分野（県交流人事））》

当該領域の森本教員から、選定の経緯と結果について資料に基づき説明があり、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から森本、当該領域から坂本、当該領域以外の領域から平中、水澤の各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、角間委員を選出することとなった。

(3) 特任教員の任用について（調査委員会設置の発議）（資7）《投票》

《学校臨床心理専攻（領域B、臨床心理学分野）》

当該領域の生島教員から、選定の経緯と結果について資料に基づき説明の後、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から生島、当該領域から青木、当該領域以外の領域から杉浦、鶴巻の各教員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、高谷教員を選出することとなった。

《教職実践専攻（領域A、道徳教育分野）》

当該領域の坂本教員から、選定の経緯と結果について資料に基づき説明の後、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から坂本、当該領域から松下、当該領域以外の領域から小野原、原野の各教員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、保木井教員を選出することとなった。

《教職実践専攻（領域A、特別支援教育分野）》

当該領域の鶴巻教員から、選定の経緯と結果について資料に基づき説明の後、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から鶴巻、当該領域から植田、当該領域以外の領域から高橋（純）、新井の各教員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、住吉教員

を選出することとなった。

(4) 特任教員の任用について（採用の発議）（資8—回収）《投票》

《学校臨床心理専攻（領域B、臨床心理学分野）》

学類長から、生島教員は本学を退職した採用候補者であるので、学類の申し合わせにより資格調査委員会を省略することが出来るため、調査委員会は省略することとし、本教員会議において審議・承認の手続きを行いたい旨説明があり、特任教授として採用することの提案があり、承認された。

《地域文化創造専攻（領域G、体育理論・史分野）》

学類長から、採用候補者は他大学教授を退職した新規者であるので、「官公庁等定年退職者を対象とした特任教員の選考手続きに関する申し合わせ」第2条1・2項により資格調査委員会を省略することが出来るため、調査委員会は省略することとし、本教員会議において審議・承認の手続きを行いたい旨説明があり、次いで、当該領域の杉浦教員から資料に基づき竹田隆一氏の経歴・研究業績の報告があり、特任教授として採用することの提案があり、承認された。

《教職実践専攻（領域A、学校経営分野）》

松下資格調査委主査から、審査対象者のA氏について、研究業績及び教育能力の両面についての審査内容の報告があり、審査結果を総合的に判断して、適格者とする結論に至った旨の説明提案があり、承認された。次いで、資料に基づきA氏（大橋淳子氏）の経歴・研究業績の報告があり、投票に移ることの提案があり、承認された。

投票の結果、投票総数52票、賛成50票、反対0票、無効1票、白票1票で特任教授として採用することが、承認された。

《地域文化創造専攻（領域F、美術科教育分野）》

新井資格調査委主査から、審査対象者のA氏について、研究業績及び教育能力の両面についての審査内容の報告があり、審査結果を総合的に判断して、適格者とする結論に至った旨の説明提案があり、承認された。次いで、資料に基づきA氏（渡部憲生氏）の経歴・研究業績の報告があり、投票に移ることの提案があり、承認された。

投票の結果、投票総数52票、賛成51票、反対0票、無効1票、白票0票で特任教授として採用することが、承認された。

(5) 附属特別支援学校長の選出について

学類長から、選考の経過について説明があった後、附属特別支援学校長として原野明子教員の提案があり、承認された。

(6) 福島大学評議員、教大協評議員の選挙について（資9）

学類長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

3. 学類長：

(1) 「評議員選挙の被選挙人名簿の作成について」の一部改正について（資10）

学類長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

4. 教務委：

(1) 令和4年度非常勤講師計画の変更について（資11）

高田委員から、標記について資料に基づき変更点の説明提案があった。また、新規採用者1名については、非常勤講師の選考手続きに関する申し合わせ第2条により、教員会議での審査を要するため、担当講座より経歴・推薦理由について資料に基づき説明があり、承認された。

5. 教員養成カリキュラム委：

(1) 福島大学教職スタンダードの策定について（資12）

杉田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、2月中に再度県教委から微修正が示される予定であるため、その点は委員会で責任をもって対応することを含め、承認された。

(2) 次年度以降における教職実践演習の実施内容の変更について

杉田委員長から、標記についてこれまで当該授業では、教職に就く者は授業後半、附属学校での実習を行っていたが、①次年度以降、当該授業の運営主体は全学の福島大学教職課程センターへと移行し、学類間共通開講を進めていくことになるが、実習については他学類からの同意が得られないこと。②次年度から授業内に ICT の内容を位置付けることが本省より求められており、附属学校任せにはできないこと。③副免実習（教育実習）が2週間へと延長されるに伴い、（附属中において）当該授業の実習期間を確保できなくなったこと。以上の事由により、次年度以降はそれを取りやめ、全て大学内での演習とする旨説明・提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 教育研究評議会：第 375 回(2/8) 資料：「福島大学会議運営サイトを参照」

(審議事項)

(1) 令和3年度大学機関別認証評価結果（案）及び意見申立てについて

(2) ICLプロジェクトにおける単位互換に関する協定締結について（戻り報告）

(3) 大学院の改革について

(報告事項)

(1) 福島大学キャリアセンター設置に向けての検討について（最終報告）

(2) 令和4年度 福島大学「foRプロジェクト」の公募について

(3) 国立大学法人福島大学と小野町との包括連携協定の締結について

(4) 労使協定の締結について

(5) 令和4年度予算（案）の伝達等について

(6) 令和3年度教職大学院認証評価結果（案）について

2-1. 運営会議：第 170 回(1/25) 資料：「福島大学会議運営サイトを参照」

(1) 令和2年度会計検査院の決算検査報告説明会について

(2) 第4期中期目標期間に向けた事務組織改編に関する検討結果について

(3) 福島大学キャリアセンター設置に向けての検討について（最終報告）

(4) 令和5年度の地方国立大学の定員増への対応について

(5) 福島大学教員人事計画に関する申合せの改正について

(6) 大学院の改革について

(7) その他

①電気・ガス・水道使用量について（12月分）

2-2. 運営会議：第 171 回(2/1) 資料：「福島大学会議運営サイトを参照」

(1) 大学院の改革について

3. 危機対策本部会議

学類長から、第 85・86 回の会議内容について説明報告があった。

4. 教務委：

(1) 令和4年度新入生ガイダンススケジュール（案）について（資 18）

高田委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

5. 学生生活委：

(1) 令和4年度メンタルヘルス・オリエンテーションについて（資 19）

佐藤(元)委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(2) 令和4年度 1・3年生学生研修について（資 20）

蓮沼委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(3) 令和3年度学位記授与式の総代について

中村(洋)委員長から、標記についてローテーションに基づきスポーツ芸術・スポーツ探求クラス依頼する旨、報告があった。

◆研究科委員会◆

【審議事項】

1. 入試委：《先議》

- (1) 令和4年度大学院人間発達文化研究科入学試験（第2次学生募集）の合否判定について
(資 13—回収)

安田委員長から、標記について「令和4年度大学院人間発達文化研究科入学試験（第2次学生募集）合否判定の方法について」を読み上げた後、資料に基づき説明提案があり、承認された。

- (2) 令和4年度大学院人間発達文化研究科第3次学生募集について（資 14）

高橋(優)委員から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

2. 教務委員会：

- (1) 長期履修学生期間変更について（資 15）

半沢委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

- (2) 修了研究題目の変更について（資 16）

半沢委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

3. 教職実践専攻：

- (1) 教職実践研究科教職高度化専攻（教職大学院）の課程認定科目について（資 17）

学類長から、令和4年度に全学の人事方針が示される予定で、これを受け令和7年度以降の人事計画の検討に入ることを前提とした提案である旨発言があり、次いで、鶴巻専攻長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 学生生活委：

- (1) 令和3年度学位記授与式の総代について

中村(洋)委員長から、標記についてローテーションに基づき地域文化創造専攻・人間発達支援領域に選出を依頼する旨、報告があった。

(アナウンス)

- ①令和4年度一般選抜（前期日程）における不測の事態への対応について《先議》（入試委）

標記について、当日の不測の事態に備え、専門委員にも急遽監督業務等に対応頂く可能性がある旨のアナウンスがあった。

※次回の教員会議は、令和4年3月4日（金）12：30～開催することとした。